



2012 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA 展覧会

概要

九州大学が中心となって主催する「2012 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA」が、福岡アジア美術館（福岡市博多区）において平成 25 年 2 月 28 日（木）から 3 月 5 日（火）まで開催されます。九州大学からは「インタラクティブ部門大賞」をはじめ全 12 作品が受賞しました。なお、シンポジウム及び表彰式は、3 月 3 日（日）に開催されます。

今年で 12 回目となる「アジアデジタルアート大賞展」は、アジアから世界へ向けた知の発信とデジタルアート及びデザインの普及、クリエイターの発掘を目的として、平成 13 年に開設されました。毎年、特に論理的思考に基づいた芸術表現とともにアジアの感性にあふれた作品を募集しています。

今年からは「2012 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA」として実施拠点である福岡の名称を掲げることにより、北部九州とアジアとの連携を一層深めていくこととしています。

■審査結果

今年は、16 の国と地域から 700 点を超える応募があり 101 点が入選しました。平成 24 年 12 月 16 日に各分野の専門家による審査を行い、受賞者が決定しました。上位受賞者は、下記のとおりです。

- アジアデジタルアート大賞／福岡県知事賞／文部科学大臣賞
作品名：「evolution」
受賞者：奥山 光貴（神奈川県）

(カテゴリーA)

- 静止画部門大賞
作品名：「会津の彼岸獅子」
受賞者：伊藤 峰洋（福島県郡山市）
- 動画部門大賞
アジアデジタルアート大賞選出のため該当作品なし
- インタラクティブアート部門大賞／総務大臣特別賞
作品名：「魚たちの沈黙」
受賞者：川端 慧（九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻）
- エンターテインメント（産業応用）部門大賞／経済産業大臣賞
作品名：「アニメ漫才」
受賞者：アキラボーイ（アキラボーイデジタルプロダクション）

(カテゴリーB)

- 静止画部門大賞
作品名：「異次元のアリス」「東洋と西洋」「ケルトの精神」
受賞者：岩垂 亮太郎（兵庫県西宮市）
- 動画部門大賞
作品名：「Never Ending」
受賞者：Amronkundet Peerapong（タイ / Silpakorn University, Faculty of Decorative Arts, Department of Visual Communication Design）

■展覧会とシンポジウム・表彰式の日程

○展覧会

会 場：福岡アジア美術館 企画ギャラリー

(福岡市博多区下川端町 3-1 博多リバレインセンタービル 7F)

会 期：平成 25 年 2 月 28 日 (木) ~ 3 月 5 日 (火) 10 : 00 ~ 20 : 00 (入館は 19:30 まで)

※最終日は 18 時閉館 (入館は 17 : 30 まで)

入場料：無料

○シンポジウム「大賞受賞者によるクリエイターズトーク (仮題)」

日 時：平成 25 年 3 月 3 日 (日) 14 : 00 ~ ※13 : 30 より受付を開始します。

場 所：福岡アジア美術館 あじびホール (福岡市博多区下川端 3-1 博多リバレインセンタービル 8F)

参加費：無料

※詳細は決定次第 Web サイトでお知らせします。

○表彰式

日 時：平成 25 年 3 月 3 日 (日) 16 : 30 ~ ※16 : 00 より受付を開始します。

場 所：福岡アジア美術館 あじびホール

(福岡市博多区下川端 3-1 博多リバレインセンタービル 8F)

【お問い合わせ】

2012 アジアデジタルアート大賞展実行委員会事務局
(九州大学感性融合デザインセンター内)

電話：092-553-4577

FAX：092-553-4577

Mail：kcad@design.kyushu-u.ac.jp

Web：<http://adaa.jp>